

『本当に真実なこと』 ヨハネの福音書 3章31～36節 2017.6.25(聖日礼拝説教より)

『御子を信じる者は永遠のいのちを持つが、御子に聞き従わない者は、いのちを見ることがなく、神の怒りがその上にとどまる。』
ヨハネの福音書3章36節

年頭聖句(ヨハネ 15:5)にあるように聖書の教えは単純明快！ イエス様につながっていれば多くの実を結び離れれば実を結ばない。つながるか離れるかはあなたが決める！

❶天から来た方か、地に属する者か(31,34 節)…イエス様が上(天)から来られた方である証拠は3つ。①独特な生涯…誕生、奇跡、十字架での死と復活！そして型破りな平和と愛のメッセージ『敵を愛せ』(マタイ 5:44)。②多くの復活の証人…歴史上の偉人は皆亡くなり、イエス様は今も生きておられ、その証人は世界中に！③信仰は、時代も民族も超えて全世界に！未だにキリスト誕生から年を数え、聖書は世界一印刷され、全世界でクリスチャンは増加中！神の愛の印(十字架)を世界中に広げた方が言う！「御子を信じる者は永遠の命を持ち、御子に聞き従わない者は命を見ることがない！」「信じる・信じない」は心の問題ではなく、「聞き従うか・聞き従わないか」という生活態度の問題！そして、「命を持つか・持たないか」は、その「命」を日々体験するかどうか。『神の怒りがとどまる人生』は地獄。ある方が言う。『地獄とは…神の愛を必要としなかった人々が行く世界！だからそこに愛はなく、人が罪の性質全開で生きている。誰からも愛されず、誰をも愛さず、怒りに満ち、恐ろしいほどの孤独で虚しい世界』。誰も、そんな所へ行きたくはないのに神の愛を受け入れない人が多い。しかし、『その証を受け入れた者は、神は真実であるということに確認の印を押す(33 節)』。

❷「受け入れる者」と「受け入れない者」の違い(33節)…ヘブル 11:1 のように、受け入れる人は素直で謙虚に信じる！また、ヤコブが愛されエサウが憎まれた理由にも注目！創世 25:32『…見てくれ。死にそうなのだ。長子の権利など、今の私に何になるう』と言った』！エサウは、目の前の必要(欲)と引き換えに、神の永遠の祝福を捨てた！神様からの永遠の祝福が約束されるのだから、まず素直に信じたら良い！その謙虚な心に、現実の苦難を越えた向こうにある神の真実が見えてくる！

★神はあなたを愛し、罪を聖め、誘惑に勝たせ、悩みの中で助け、悲しみの涙を拭き取り、永遠の慰めを用意される。これが要らないほどにあなたの人生は安泰で、神の審判の座にも堂々と立てるのだろうか？この朝、天から来られた方の真実な約束を素直に信じ、素晴らしい天国の約束を謙虚に、ただ感謝して受け入れ、その恵みに生きよう！